

教育課程と履修方法

1. 教育課程の編成

(1) 講義・演習・実習の展開方法

現実の課題解決に寄与する研究成果を創出するため、講義・演習・実習の連動を図って展開する。まず、公衆衛生看護および関連分野における国内外の研究を広く探求し、基盤となる概念の整理や当該分野の研究課題の明確化、研究方法に関する広範な知識を身につける。これを基盤に、研究フィールドと連携して実践的な研究活動を展開することによって、社会的公正を規範として健康課題を的確に分析・予測し予防的に問題解決を図る方法、広域的・包括的・組織横断的にPDCAを展開し管理する方法、科学的根拠に基づいて政策立案およびシステムを開発する方法、住民・関係機関と協働し地域開発を行う方法等を創出するとともに、その実践能力を強化する。また、MPHコースとの連携により国際的視点と高度な分析力を養い、グローバルに活動できる健康危機能力、施策化能力を養う。

(2) 実習科目の内容と方法

実習を前期5週間、後期10週間、各々週2日とし、並行して週2～3日の講義・演習を行うことによって、実習で把握した問題を、講義・演習で意味づけ、背景要因とともに明確化し、解決策を探求しながらまた実習に赴くというサイクルを保証し、実践能力と研究能力を深化させる。理論と実践を融合することを通して、現実に即した研究課題を発見し、現場に役立つ研究成果を創出することができる。同時に、連携・協働する能力、教育能力を強化する。詳細については別途実習要項を用いて説明する。

2. 修了の要件

(1) 本課程に2年以上在学して、所定の単位(30単位以上)および「IV-2. 保健学専攻博士前期課程保健師教育課程表」の28単位を修得すること。

かつ、必要な研究指導を受けた上、指導教員より論文指導をうけ修士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格すること。

※要件単位数は **30単位+28単位=58単位以上**となる。

(2) 在学期間に関しては、大阪大学大学院学則第15条により研究科教授会が優れた業績を上げたと認める者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

3. 履修の方法

(1) 上記「2. 修了の要件(1)」に記載の「所定の単位(30単位以上)」については次のとおり修得しなければならない。履修にあたっては必ず指導教員と相談すること。

なお、指導教員と相談のうえ、他分野、他専攻、他研究科、学部の科目等をもって、修了に要する単位に充当できる。詳細については下記を参照のこと。

区分	修得単位数等
必修科目	「総合ヘルスプロモーション科学実験・実習」、「総合ヘルスプロモーション科学特別研究」を合計8単位修得すること。

選択必修科目	高度国際性涵養教育科目	次の授業科目のうちから、1単位以上修得すること。 ○「IV-1. 保健学専攻博士前期課程教育課程表」に掲げる共通専門科目及び統合保健看護科学専門科目のうち、「高度国際性涵養」欄に●印が付されている科目 ○学部・他研究科・他専攻が高度国際性涵養教育科目として提供する科目 ○博士課程教育リーディングプログラム科目 ○グローバルイニシアティブ科目
選択必修科目	高度教養教育科目	次の授業科目のうちから、1単位以上修得すること。 ○「IV-1. 保健学専攻博士前期課程教育課程表」に掲げる医療技術科学専門科目 ○学部・他研究科・他専攻が高度教養教育科目として提供する科目 ○大学院横断教育科目 ○博士課程教育リーディングプログラム科目
合計		上記の要件をすべて満たしたうえで、合計 30 単位以上修得すること。

- ① 保健学専攻博士前期課程において開講されている多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランの履修については、後述の各コースの概要や教育課程表を基に指導教員の指示に従うこと。

※多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン（高度がん看護専門看護師コース・先端医学物理コース・ゲノム世代細胞検査高度診断コース・分子ゲノムコース）

- ② 他大学、他研究機関との共同プロジェクト・コース等により本学以外で開講される科目履修については、指導教員の指示に従うこと。
- ③ 授業科目の配当年次および履修期については、変更することがあるので、毎学期のはじめに授業時間割等により確認すること。また、講義・試験等教務関連の連絡は原則としてKOANまたは保健学科掲示板を通じて行われるので自己責任で確認を行うこと。なお至急の連絡等の一部教務連絡は入学時に登録したメールアドレスや携帯電話を通じて行われるので、メールアドレスや電話番号の変更があった場合は速やかにWeb KOANにて変更すること。
- ④ 授業科目のシラバスはWeb KOANにて確認すること。

- (2) 家族看護援助論は統合保健看護科学専門科目および保健師教育課程専門科目として重複しているので、所定の単位（30 単位以上）には含まれない。